

# 明治大学ラグビー部大学選手権優勝 ～王座奪還への道のり～



**7年ぶり14回目  
優勝**

日本一という結果につながりました。その一日一日の積み重ねが不懈の努力と、日々の練習で育まれた結果です。この勝利は、私たちの想いが実現された瞬間です。これからも、明治大学ラグビー部として、より一層の成長を目指してまいります。

4年経営学部 柴田竜成  
大学選手権を振り返って

作戦の確認を行いました。試合は明治のディフェンシブな作戦と強い接点でのボール奪取がはまり、優位に展開出来ました。何度も何度も繰り返す攻めで、徐々に形になりました。下馬評では4位だろうとされていた対抗戦も1位通過出来、選手権に臨めました。迎えた選手権の京都産業大学戦では、前半押し込まれる展開になりましたが、明治はスタミナでは上回つてしましましたが、焦らず仲間とやつてきた事を信じた。後半にしつかり攻めて突き放しました。決勝の早稲田戦は緊張しました。早稲田も帝京大学を破り調子を上げてきました。そこで、7年ぶりに日本を奪還できました。勝つても負けても応援してくれた明治大学OB並びに関係者の皆様に感謝申し上げます。

【編集】  
明治大学  
秋田県父母会  
【注意事項】  
写真の無断転載・転用はご遠慮ください。

日本一奪還のご報告

明治大学 商学部4年 最上太尊



【編集後記】



「第62回全国大学ラグビーフットボール選手権大会優勝」同じ将軍野中学校で切磋琢磨した二人が、大学ラグビーの最高峰で共に逞紺のジャージをまとい、日本一を掴み取った姿には涙が止まりません。秋田の伝統を背負い、秋田工業高校から明治の門を叩いた柴田竜成選手。そして、宮城の仙台育英高校へと進み、さらに逞しくなつて再会した最上太尊選手。柴田選手の冷静かつ献身的なゲームメイクと、最高選手の圧倒的な推進力。中学時代からの縁があり、秋田のラグビー界にとって計り知れない希望です。二人の「秋田魂」が刻まれたこの勝利、本当にありがとうございました。